

会議・打合せ記録

会議録	平成22年度 第3回豊田市公共交通会議
次 第	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>【協議案件】</p> <p>(1) 基幹バス路線の改編について</p> <p>① 藤岡・豊田線（加納経由）</p> <p>② 稲武・足助線</p> <p>③ 旭 ・新盛線</p> <p>(2) 地域バス路線の改編について</p> <p>① 足助地域バス（あいまーる）</p> <p>(3) 《社会実験》 おいでんバス平日昼間割引回数券の導入について</p> <p>(4) スクールバス路線の廃止について</p> <p>【報告案件】</p> <p>(1) 豊田市 基幹バス・地域バスの上半期利用状況について</p> <p>(2) 平成23年度公共交通関連予算について（国土交通省愛知運輸支局）</p> <p>(3) manacaの導入について（名古屋鉄道株）</p> <p>3. その他</p> <p>(1) 次回会議の開催予定について</p> <p>4. 閉会</p>
日 時	平成23年2月10日（木） 10:00～12:00
場 所	豊田商工会議所 201・202号室

出席者 (敬称略)	<p>【委員】 荻野 弘 (豊田工業高等専門学校) 鈴木 淳 (豊田商工会議所) 野田 宏治 (豊田工業高等専門学校) 佐藤 勇恵 (豊田市区長会) 浅井 鉄男 (豊田市老人クラブ連合会) 小笠原英喜 (名古屋鉄道株式会社) 梶原雅一郎 (愛知環状鉄道株式会社) 藤田 信彰 (名鉄バス株式会社) (代理: 徳田) 境 政義 (豊栄交通株式会社) 牛田 昌弘 (愛知県タクシー協会) 長崎三千男 (愛知県バス協会) 小林 裕之 (国土交通省中部運輸局愛知運輸支局) 齋藤 和樹 (愛知県警察 豊田警察署) (代理: 大野) 本多 幸治 (愛知県警察 足助警察署) 松井 圭介 (愛知県地域振興部交通対策課) (代理: 崎下) 大原 義朗 (愛知県豊田加茂建設事務所) 林 正美 (愛知県豊田加茂建設事務所 足助支所) 山田 正秋 (豊田市都市整備部) (代理: 加藤)</p> <p>【事務局】 豊田市 都市整備部交通政策課</p>
資料	<p>1. 次第・配席図 2. 資料1～7: 豊田市公共交通会議 平成22年度第3回会議資料</p>

(要約)

1. 開会

2. 議事

【協議案件】

(1) 基幹バス路線の改編について

◆ 藤岡・豊田線 (加納経由) ◆ 稲武・足助線 ◆ 旭・新盛線

- 事務局 資料に基づき説明。
- 委員 旭・新盛線について、減便となるが地元との調整等は、どのように進めてきたのか、教えていただきたい。
- 事務局 旭・新盛線の直通化に伴い、便数が減ることになるが、利用の多いダイヤについては、維持するように進めてきました。また、足助病院、足助高校、足助中学校への通学、通院を考慮して関係機関と調整し、ダイヤ作成を行ってきました。
- 委員 このダイヤについては、地域の了解が得られているという認識でよいか。
- 事務局 旭支所、足助支所と連携をとって実施しております。
- 委員 乗継定期の運賃調整を実施したとのことだが、普通運賃の調整は実施しているのでしょうか。
- 事務局 乗継定期運賃は、距離で計算しています。新盛で降車したという扱いにせず、継続乗車扱いにし、距離に応じて運賃を設定しています。
通常運賃については、例えば小渡から足助病院までは、新盛で乗継のため降車

するので、小渡から新盛までの300円、新盛から足助病院までの300円の合計600円という通常運賃となっていました。これが直通化することによって、小渡から足助病院まで普通運賃500円で乗車できるようになります。

- 委員 改編に伴って、どの程度の利用増を見込んでいるのでしょうか。
- 事務局 具体的な数字は、算出していません。しかし、今までの利用状況及び改編後の沿線人口からすると増えると見込んでいます。
- 委員 観光施設等との協力や連携については、今後どのように利用促進をすすめていく予定なのか教えてください。
- 事務局 バスマップを作成しているが、この中に観光施設等を掲載してPRしていきたいと思います。また、豊田市の商業観光課にて発行している豊田市観光マップにも公共交通の情報を掲載してもらうように調整していきたいと思います。
- 委員 運行本数が増えたり減ったりした理由が資料に記載されていると分かりやすいと思います。どのような経緯で増やしたのか、また減らしたのか、資料に記載されていることで、それらの経緯も含めて協議ができるので、今後の資料作成は、そのあたりを考慮してお願いします。

(2) 地域バス路線の改編について

◆ 足助地域バス（あいまーる）

- 事務局 資料に基づき足助支所より説明。
- 委員 利便性が良くなることへの改編になるかと思います。
- 通学線において、基幹バス路線が運行する箇所はバス停も廃止するということですが、せっかくその路線を地域バスが運行するのであれば、バス停をそのままにしておいた方が便利なのではないでしょうか。
- 事務局 他の地区との整合性をとるため、今回は基幹バス路線と競合する区間については、バス停の設置を行わないこととしました。
- 委員 利用者が基幹バスも地域バスも両方利用すると仮定した場合に、バス停を併設することに問題はありますか。
- 事務局 今回、基幹バスが運行する路線については、地域も大変喜んでいますが、この部分については、基幹バスの経営等を考慮する必要があるため、地域バスとの競合を避けております。

(3) 《社会実験》

とよたおいでんバス平日昼間割引回数券の導入について

- 事務局 資料に基づき説明。
- 委員 マナー調査員という話があったが、どのような人でしょうか。
- 事務局 緊急雇用制度を利用して、バス車内のマナーについて利用者へ指導を行ったり、定期券等の不正を防止するために不定期にバスに乗車してもらいチェックをしている調査員になります。
- 委員 回数券を買ってもらった方が安くなるわけだが、車内での案内にばらつきがあると利用者に不公平が生じることになると思うが、どのように考えていますか。また、区間によっては大人より子どもの料金の方が高くなってしまふことは、考えられないのでしょうか。

- 事務局 車内でのPRについては、事業者に漏れが無いように実施してもらうようにお願いします。また、子どもの料金が大人より高くなることはありません。
- 委員 子どもの料金を大人の割引回数券で支払うことは可能でしょうか。
- 事務局 基本的には、不可能です。なぜなら利用状況をこの回数券で把握していきたいと考えていますので、この回数券を利用するのは大人のみとしていきたいです。
- 委員 目的のところに、「一般」という文言を追加してもらおうと良いかと思います。なぜなら、子どもと障がい者が対象にならないので、そのあたりを明確にするためにもわかりやすくしておいた方がよいかと思います。
- 事務局 目的のところに、区別できるような文言を加えておきたいと思います。利用者の少ない平日昼間の大人利用者を増加、という形にしておきたいと思います。
- 委員 通常、運転手はどの程度の回数券を持って運行しているのでしょうか。
- 事務局 携帯している回数券の数については、正確に把握しておりませんが、各事業者で異なっていることも考えられるため、不足が生じないように常備して運行してもらうように調整していきます。
- 委員 大人と子ども合わせて回数券500円分を利用した場合、同じ回数券で支払いができないと釈然としないのだが、それでも利用は不可なのでしょうか。
- また、対象路線が、各路線で異なっていると利用者及び運転手に混乱が生じないか心配です。
- 事務局 運行については、運行事業者と十分に協議して混乱の生じないように配慮していきたいと思います。割引対象の路線がどうかについては、車内に目立つ掲示等をしていきたいと思います。
- また、回数券の利用方法については、社会実験での使われ方を参考にして、本格運用時に活かして行きたいと思います。社会実験期間中については、評価をきちんとしていきたいので、回数券の利用は、大人に限定して実施したいと考えています。
- 委員 社会実験のお知らせについては、バス停等にも掲示される予定でしょうか。
- 事務局 多くの人に周知するために方法は検討していきたいと思います。バス停にも掲示できるように検討していきます。
- 委員 回数券の枚数について、残ってしまった場合のことも考えると、本当に10枚綴りがいいのかどうか判断に迷うところがある。
- 事務局 10枚綴りにすることで、余った分を次回に使ってもらうことを期待してこの枚数にしています。
- 実験終了時点で余ることも考えられるため、払い戻しの制度を利用して払い戻しをするのか、本格運用する場合に継続利用できるように配慮していきたいと思います。

(4) スクールバス路線の廃止について

- 事務局 資料に基づき説明
- 委員 この路線を運行するにあたって注意する事項等あればお教えてください。
- 事務局 子ども利用が多いため、人当たりのいい運転手をあてがってもらえるといいかと思います。

【報告案件】

- (1) 豊田市基幹バス及び地域バスの利用状況について
- (2) 「平成23年度予算について」
- (3) manacaについて

3. その他

- (1) 次回会議の開催予定について

○事務局 次回会議は、平成23年5月または6月に開催を予定しています。
よろしく申し上げます。

4. 閉会